

安田城跡

国指定史跡

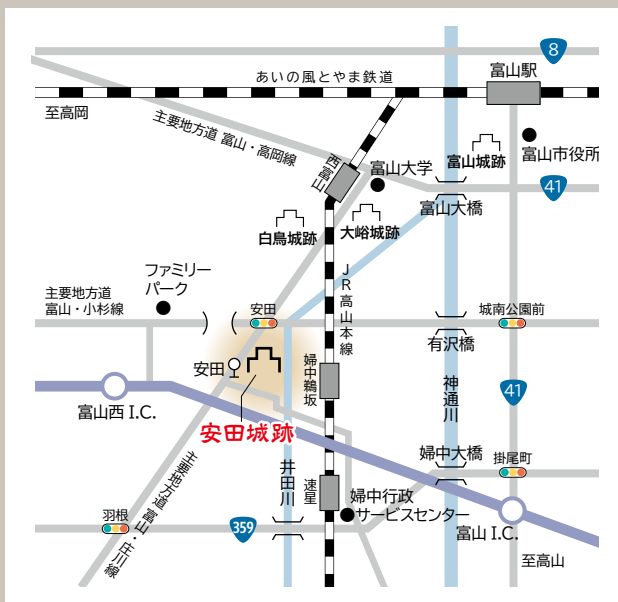


「越中安田古城之図」（金沢市立玉川図書館所蔵）

Yasuda Castle Site

— Nationally Designated Historic Site —

交通のご案内



- ・富山駅（JR、あいの風とやま鉄道）から車で約20分
- ・JR速星駅から車で約5分
- ・JR婦中鵜坂駅から徒歩約25分
- ・富山駅（JR、あいの風とやま鉄道）からバスで約40分、徒歩5分（富山地鉄バス 富山大学附属病院行 安田下車）
- ・北陸自動車道富山西I.Cから車で約10分

富山市婦中安田城跡歴史の広場 安田城跡資料館のご利用案内

- 開館時間／午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日／ 月曜日（祝日を除く）
祝日の翌日（ただし、翌日が土・日の場合は開館）
12月28日～1月4日 ※臨時休館・開館あり
- 入館料／ 無料

お問い合わせ

富山市婦中安田城跡歴史の広場 安田城跡資料館

〒939-2751 富山県富山市婦中町安田244-1 TEL. 076-469-4241

富山市教育委員会 埋蔵文化財センター

〒939-2798 富山県富山市婦中町速星754 TEL. 076-465-2146



富山市婦中安田城跡歴史の広場ホームページ

令和7年6月改訂

安田城跡のあらまし

呉羽丘陵東南麓、井田川左岸に立地する戦国時代の平城で、堀を含めた規模は東西約150m、南北約240mです。

本丸、二の丸、右郭の三つの郭からなり、井田川から水を引き入れた堀がめぐっていました。また、本丸と二の丸には高さ約2.4mの土塁跡が確認されました。こうした城の構造は、江戸時代文化年間に富山藩士安達淳直・直章によって描かれた「越中安田古城之図」と重なります。安田城跡のように保存状態が良く全体像が分かる平城は、全国的に少なく貴重な事例です。

出土品の約9割はかわらけで占められ、油を燃やして明かりをとる灯明皿として用いられたものが多くありました。また瀬戸美濃の天目茶碗や中国製の染付皿、越中瀬戸の皿・すり鉢などの陶磁器のほか、短刀、鉄釘、銅銭、砥石、とりべ（溶解炉で溶かした金属をすくう道具）、炉壁（溶解炉の破片）などが出土しました。

安田城は天正13（1585）年、全国統一をめざす羽柴（豊臣）秀吉が越中の佐々成政を攻めた際、秀吉の本陣となった白鳥城の支城であった城とされています。前田家の部将であった岡嶋一吉が城主となった後、代官の平野三郎左衛門が居城しましたが、後に金沢に帰還し、廃城になったと伝えられています。



左上：瀬戸美濃（天目茶碗）
右上：中国銭（天聖元宝）
下：かわらけ



富山市婦中安田城跡歴史の広場

史跡所在地 富山県富山市婦中町安田^{とのまちわり}字殿町割348番1ほか

史跡の指定 指定年月日：昭和56年2月23日

指定面積：34,338㎡

史跡の整備 平成2年度～平成4年度、史跡等活用特別事業・ふるさと歴史の広場事業で整備。
平成5年5月13日、広場開場。

みんごじ 安居寺石燈籠(複製)



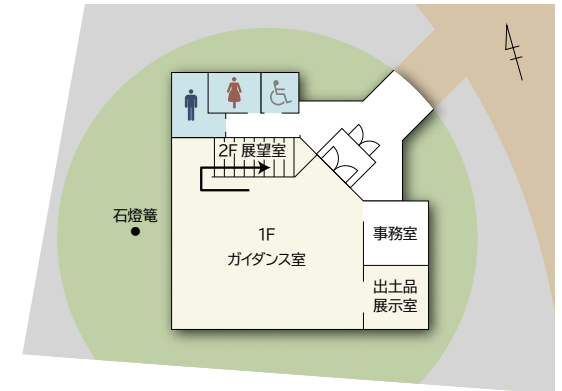
出土品展示室



安田城跡資料館



安田城跡資料館の概要



建物構造 鉄筋コンクリート2階建

延床面積 249.4㎡

野外模型



土壘展示施設

